

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

— 第23号 —



全国植樹祭とっとり2013

= 目 次 =

- 総会・講演会 2~5
- 第64回全国植樹祭出演 6
- 日野川スマホ携帯写真コンテスト募集 7
- これからのイベント、会員募集、編集後記 8

日野川の源流と流域を守る会

平成25年度 総会・講演会

■ 2月27日(水) 米子市文化ホール
イベントホール

米子市末広町にある米子市文化ホール イベントホールにおいて平成25年度の日野川の源流と流域を守る会の総会・講演会を開催しました。

また、「平成24年 日野川流域憲章記念事業 日野川スマホ携帯写真コンテスト」のグランプリと入賞の方々の表彰を行いました。



能勢 隆之 会長

＝会長あいさつ＝

日野川への関わり

日野川の源流と流域を守る会の総会にご参加いただき、ありがとうございました。会長を務めさせていただいている能勢でございます。

この日野川の源流と流域を守る会は、ただ日野川の源流だけでなく、日野川流域全体の文化や芸術などのいろいろなものを大切に育むことで、日野川を守っていきこうとしております。

この会の会則にも一人一人という言葉が何回か繰り返されて出てきます。鳥取県西部地域に住んでいる人は、日野川に関わったことのないような人はなく、そこに住んでいれば大なり小なりどこかで関わっているものなのです。この会としても日野川を守りますが、まず一人一人が日野川の恵みに関わっていくことが非常に重要なことであると思います。

日野川を楽しむ

日野川の源流から始まる水域を守るということは、私たちの生活を確保することであり、私たちが生きていくためには必然的に必要なことです。みんなが一堂に会して、いろいろなことを議論しながら日野川を育み楽しんでいくようになれば良いと思います。

今日も、日野川スマホ携帯写真コンテストの表彰や日野川にまつわるいろいろな文化的行事やイベントの報告があります。皆さんがそれらのことを認識して参加されることで、日野川をよりいっそう豊かなものと感じることができるようになると思います。私も日野川源流に行ったことがありますが、皆さんと協力しながら皆さんと一緒に楽しみたいと思います。ぜひ、みんなと一緒に楽しんでいただけるよう、この会が発展することを願い、冒頭のご挨拶とします。本日はありがとうございました。

＝平成25年度 活動の基本方針を決定＝

- 日野川の大切さを伝え、守り育てるという会の原点を大切にし、その理念の輪を広げる。
- 森林・河川保全等のボランティア活動に積極的に参加する。
- 上流域と下流域の幅広い交流を活発にする。

役員改選

平成25年4月1日付で豊島良太鳥取大学学長が新会長に就任されました。



てしま りょうた
豊島 良太

【略 歴】

昭和48年 鳥取大学医学部卒業
 53年 鳥取大学大学院医学研究科博士課程修了
 同年 鳥取大学医学部附属病院 医員
 54年 鳥取大学医学部教務員
 56年 同 附属病院助手
 56年 アメリカ合衆国ハーバード医学校マサチューセッツ総合病院客員研究員(57年3月まで)
 62年 鳥取大学医学部附属病院 講師
 63年 鳥取大学医学部 助教授
 平成11年 同 教授(整形外科学)
 15年 副病院長
 19年 病院長 教育研究評議会評議員
 23年 医学部長 教育研究評議会評議員
 25年 鳥取大学学長

平成24年度収支決算

1 収入の部

(単位：円)

区 分	決算額	備 考
繰越金	1,084,134	平成23年度より
会 費	912,500	
県補助金	205,822	とっとり県民参加の森づくり推進事業
その他	1,241	預金利息
計	2,203,697	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	決算額	備 考
会議費	185,015	総会
事業費	633,750	日野川源流探訪他4事業
助成金	497,300	8団体に助成
広報費	98,700	会報印刷配布
事務費	348,098	郵送料、封筒作成費ほか
計	1,762,863	

平成25年度収支予算

今年度は、総会・講演会や森や川・自然を守る活動、歴史や文化・自然を学ぶ活動、自然や森林の大切さを伝える活動、日野川流域憲章記念事業、上下流の交流推進などの活動を行います。

1 収入の部

(単位：円)

区 分	前年度予算額	本年度予算額	増(一)減	備 考
繰越金	1,084,134	440,834	－ 643,300	平成24年度より
会 費	896,000	821,000	－ 75,000	
県補助金	400,000	400,000	0	とっとり県民参加の森づくり推進事業
その他	866	166	－ 700	預金利息等
計	2,381,000	1,662,000	－ 719,000	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	前年度予算額	本年度予算額	増(一)減	備 考
会議費	200,000	120,000	－ 80,000	総会(講演会を含む)
事業費	850,000	600,000	－ 250,000	
助成金	730,000	240,000	－ 490,000	
広報費	100,000	80,000	－ 20,000	会報ほか
事務費	350,000	210,000	－ 140,000	郵送料、封筒作成、用紙代
予備費	151,000	412,000	261,000	
計	2,381,000	1,662,000	－ 719,000	

講演会「水と健康・環境」

平成25年度日野川の源流と流域を守る会総会のあとに、鳥取大学医学部医学科社会医学講座の祝部さんを講師におむかえし、「水と健康・環境」と題して、日野川流域の水や健康などについて講演いただきました。その概要について資料を中心に誌上報告します。



講師 祝部 大輔さん
(鳥取大学医学部医学科社会医学講座講師)

おいしい水

水のおいしさと人の感覚

水のおいしさは、飲む人の感覚で決まり、個人差がある。また、気象条件、体調、周囲の雰囲気や食習慣などにも影響される。

○おいしいと感じるとき

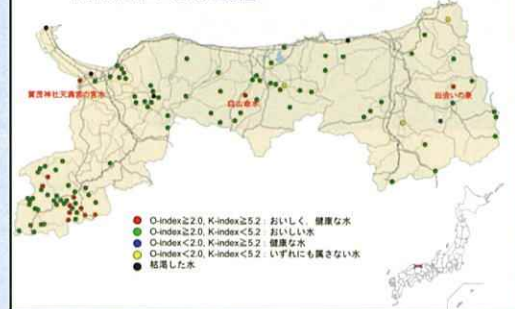
水温が体温よりも20～25℃低いとき、気温が高いとき、カラッとしていて湿度の低いとき、健康状態の良いとき、運動した後など。

○水を飲む容器、周囲の雰囲気などによっておいしさが左右される。

○においを感じるは朝が一番敏感で、においがあると、ことさらまずく感じる。

廣瀬泰基編、「水道水質辞典」、日本水道新聞社(2002)

鳥取県の名水地図



水の摂り方

毎日の水の摂り方

正しい水の飲み方は、コップ1杯(約150ml)ずつ、何度にも分けて飲むこと。

1度に大量の水を飲むと汗が吹き出し、体温を低下させ、ミネラル分も排出させ、結局腎臓に負担をかけてしまいます。

- ①起床時
- ②朝食後
- ③午前10時頃
- ④昼食後
- ⑤午後3時頃
- ⑥夕食後
- ⑦入浴前
- ⑧寝る前

水をよりおいしく利用するために(1)

■単に飲料水として飲むだけでなく、水それぞれの個性を生かし、用途別に使い分ける。

硬度	用途例
軟水 (50 mg/L 以下)	野菜料理、炊飯、和風のだし、お茶、コーヒーなど
中程度の軟水 (50 - 100 mg/L)	炊飯、調理、コーヒーなど
硬水 (170 mg/L 前後)	ウイスキーの水割り、洋風だし、肉の煮込みやアク抜きなど
非常に硬水 (300 mg/L)	食欲増進の効果があるので、食前酒の代わりに
さらに非常に硬水 (600 mg/L 超)	便秘対策、スポーツ後のミネラル補給などに

限られた水を有効に使うために

水道の蛇口をこまめに閉める。

使う水 < 捨てる水

食料を無駄にしない → 残飯を出さない

日本は世界一の食糧輸入国であり、世界一の残飯大国
捨てられる食べ物は、2000万 t / 年

食料の効率的使用を行う

- 輸入量の減少
- 穀物値段の下落
- 水と貧困に悩む途上国の人が食物が買える

水をよりおいしく利用するために(2)

- 悪臭のある場所に放置しない。
- 冷やして飲む。
- 製氷:必ず密封して製氷する。
- ガラスなどの容器に入れて移動、貯蔵する。
- 直射日光を避け、冷所に保存する。

環境保護活動

環境保護活動において大切なこと

- ・地域住民の方たちが自ら進んで行えること。
- ・持続可能な方法で水資源を管理できること。
- ・その活動によって住民の方たちの生活環境が向上すること。

水資源を守ることはもちろん、地域の伝統や生活習慣を尊重し、人々の暮らしを守ることを大切にしています。

環境保護活動へのサポートとともに、水資源の重要性に対する人々の意識を高め、地域住民の方、特に子供たちに水資源管理の問題について知ってもらうための教育ツールの開発も行っています。

エビアン水資源保護協会(Evian Water Protection Institutes)です。

安全でおいしいナチュラルミネラルウォーターを未来へと受け継いでいくこと。(源流と流域の自然—いつまでも残したい美しい日野川)

まとめ

我々は、水に恵まれているがゆえ世界で起きている水の問題に気づきにくい。まずは、一人ひとりが水の大切さ、ありがたさに感謝し、水は限りある資源であることを認識する。同時に、水を育む森林の大切さを再認識する。このようなことから始めたい。

これらのことを実践する皆さんに敬意を表します。

第1期 日野川スマホ携帯 写真コンテスト表彰式



恵み豊かな日野川の良さを表現した写真を募集している「日野川スマホ携帯写真コンテスト」。第1期の表彰式を平成25年2月27日に米子市文化ホールで開催しました。

表彰式では、グランプリ作品1点と入賞作品4点を発表し、受賞者の方に賞状や日野川流域の特産品の副賞を授与しました。式典会場のスクリーンで迫力のあるグランプリ等の受賞作品を映し出しました。



グランプリ

「川沿いから望む光」

ちやぼ

【作品のコメント】

川沿いを散歩中に思わず、シャッターをきりたくなる瞬間が訪れました。様々な命が生まれる川は素晴らしい景色も生んでくれるみたいです♪

【撮影場所】米子市

空気の澄んだ朝、光り輝く朝日が昇る大山と日野川が幻想さを感じさせます。スマートフォンでよくぞ一瞬のチャンスをとらえたという印象深い写真です。

入賞 「水鏡」 りん☆たろう



入賞 「街を潤す」 しげまん



入賞 「朝の王子」 てんきゅ



入賞 「白い共演」 輝楽



レポート

第64回全国植樹祭記念式典に メッセンジャー出演



快晴となった平成25年5月26日(日)、鳥取県西伯郡南部町にある「とっとり花回廊」を会場として、天皇皇后両陛下ご臨席のもとで第64回全国植樹祭が開催されました。

この全国植樹祭の記念式典に日野川の源流と流域を守る会が出演し、大会テーマの表現として、「はぐくみのメッセージ」を発信しました。5名の会員は緊張しながらも晴れの舞台に登場し、爽やかなメロディにあわせて朗々と森を育むメッセージを述べてまいりました。

～はぐくみのメッセージ～

古(いにしえ)から、生きること、暮らすことの礎(いしずえ)だった豊かな森。私たちに恵みをもたらす「生活の森」を、大切に育み、引き継ぎます。



▲快晴となった式典会場の背後にそびえる大山



▲約5,000人が参加した全国植樹祭式典会場



▲舞台上手でメッセージ発信の出番待ち



▲エピローグのいろいろなキャラクター

当会がはぐくみのメッセンジャーに選定された理由は、(1)日野川を流域住民一人一人が大切に、恵まれた環境のまま次の世代へ引き継ぐとともに、源流と流域の自然を守り、日野川を日本一美しい川にすることを目的に、森林・川や海を守る活動等を行っていること。(2)平成14年の発足以来、産官学民の会員による持続的な連携・協働等の活動は高く評価されること。(3)平成23年6月には、第13回日本水大賞「厚生労働大臣賞」を受賞し、秋篠宮殿下御臨席のもと表彰されたこと。によるものです。

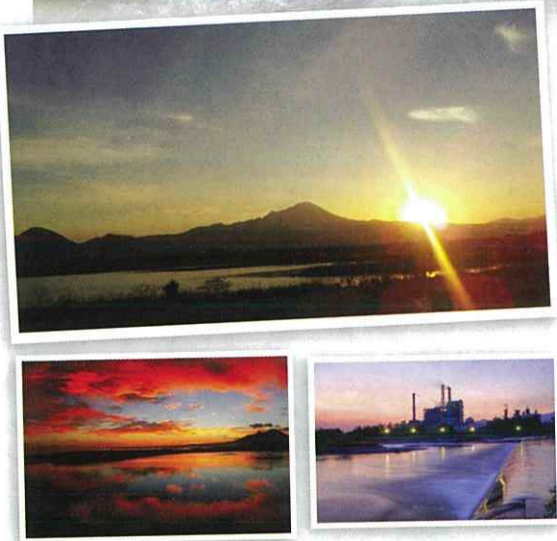
これからも全国植樹祭記念式典出演を名誉と誇りに「日野川流域の自然環境を守り、子どもたちに美しい日野川を引き継ぐ」ことを理念とする日野川の源流と流域を守る会の活動を継続したいと思えます。これからも引き続き会員の皆様のご協力をお願いします。

あなたの写真を大募集！

平成25年度日野川流域憲章記念事業 日野川スマホ携帯写真コンテスト

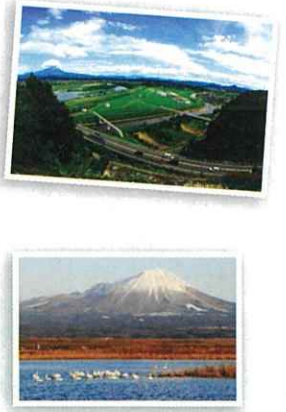
日野川 スマホ携帯写真コンテスト 作品大募集！

日野川スマホ携帯写真コンテスト



ふたたび、恵み豊かな『日野川』のすばらしさを

日野川は恵み豊かな川。人々の暮らしや四季折々の自然景観、森林景観、町並風景、祭り、史跡文化財など、日野川のすばらしさを表現し、日野川を広く紹介する携帯電話やスマートフォンで撮影した写真を募集します。



テーマ

「ふたたび、恵み豊かな“日野川”のすばらしさ」日野川源流や流域の風景、大山などの山並み、流域の人々の生活、歴史文化など日野川に関係があれば何でも結構です。

賞

☆グランプリ他 10点
(賞状、副賞日野川流域の特産品)

応募
締切

(第2期) 平成25年2月～平成25年12月末日

日野川流域憲章

制定：平成20年8月23日 日野川流域憲章制定実行委員会

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

■応募方法：応募フォーム(URL：<http://hinogawa.jp/entry/>)からデジタルデータとして投稿

■応募資格：どなたでも参加できます。 ■応募費用：無料です。

■応募点数：何点でも応募いただけます。

■選考方法：テーマに沿った内容で日野川のすばらしさを表現できている作品について、投票数を参考に主催者が選考します。

◆主催◆ 日野川の源流と流域を守る会

お問い合わせ先 日野川の源流と流域を守る会事務局

(鳥取県西部総合事務所日野振興センター日野振興局内)

〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨140-1

電話0859-72-2080 ファクシミリ0859-72-2072

案内 平成25年度 これからのイベント・行事

時期	イベント名	内容	開催場所
7月7日(日)	日野川一斉清掃	「日野川一斉清掃の日」に開催される日野川の清掃活動に参加します。	米子市他
8月下旬	海岸クリーン 作戦	日吉津海岸で開催される「海岸クリーン作戦」に参加します。	日吉津村富吉
9月下旬	日野川源流探訪	日野川源流地域で自然解説を受けながら散策し、日野川の良さを体感します。また、地域とのふれあい活動を行います。	日南町他
10月20日(日)	地域の自然を守る活動	秋の大山山麓で地域の自然を阻害する外来植物の除去作業や自然観察会、地域とのふれあい活動を行います。	江府町他
10月中旬	全国植樹祭 記念事業	全国植樹祭を記念して植樹会場周辺等において自然体験活動を行います。	江府町他
11月上旬	大山古道を歩く	大山寺への多くの参拝者で賑わった大山古道を散策して日野川流域の自然や歴史の学習会、地域とのふれあい活動を行います。	江府町他

○イベント内容については、変更する場合があります。
○イベントの詳細や参加申し込み方法については、募集の際にご案内します。

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。
日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。
また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。
私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。
そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切に、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会



編集後記

ちょっとした編集子のつぶやきです

★「日野川の源流と流域を守る会様の出演をお願いします。」と依頼があり、この度とっとり花回廊で開催された「第64回全国植樹祭」の記念式典に出演してまいりました。「はぐくみ」のメッセージを考案したり、記憶するのは一苦勞でしたが、何とか至難を乗り越えて無事に大舞台を終えることができました。その達成感は筆舌に尽くしがたいものです。☆森林のみならず日野川を守り育てる大きな歩みを続けなければなりません。子ども小さな一歩を踏みだし、美しい日野川の良さを伝える活動を続けてまいりたいと思いますので、皆さまのご指導ご鞭撻をお願いいたします。(編集子)